



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 1月号

平成29年1月10日

校長 藤井 恒雄

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、このお正月は比較的天候にも恵まれ、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、今年は酉（トリ）年。「酉」の字にはもともと「果実が熟してきた状態」という意味があるそうです。そこから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「いままでの努力が報われる時期」ということにもつながっていきます。子どもたちも新たな学年に進級する年です。その前に、新学年に向けた準備をしっかりとし、大きく羽ばたいてほしいと思います。

今日から3学期が始まりました。今朝、子どもたちは元気よく登校し、静かだった学校にも活気が戻ってきました。久しぶりに会った先生や友達に挨拶したり話したりしている様子から、「頑張るぞ」という子ども達の意気込みを感じることができ嬉しく思いました。



「一年の計は元旦にあり」 ～諦めない心～

ご家族でお雑煮を食べたり初詣に出かけたりした折り、今年一年の目標や将来の夢などを話し合ったりお願いしたりしたのではないのでしょうか。子どもたちに夢や目標を持たせることはとても大事なことだと思います。



今日の三学期始業式で、「一年の計は元旦にあり」について話をしました。一年の計画は年の初めに立てると、何事もうまくいくという意味です。まずは、「今年一年がんばるぞ」「好きなスポーツで優勝するぞ」「〇〇を上手にできるようになるぞ」「今年勉強がんばるぞ」など、夢や目標や願いを持つことが大切です。そして、その思いが実現するように、計画を立て、その夢や希望を忘れないで、努力し続けていくことです。しかしながら、途中で失敗したりできなかったりすると、諦めてしまうこともあります。今年の第93回箱根駅伝では、青山学院大学が3連覇を達成しました。区間賞を取った選手もいれば、この駅伝に出場できなかった人もいます。また、昨年のオリンピックで金メダルを取った選手もいれば、その代表選手にもなれなかった人もいます。何千、何万、何十万の選手は「代表選手として参加したい」という願いや目標を持っています。何年間も何十年間も「努力と練習」をしてきました。それでも選手になれない人は、数えきれないほどいます。しかし、「目標や願い」に近づくためには、練習したり挑戦したりしていくことが必要です。そのためには、「諦めない」「最後まで努力し、練習を重ねる」という強い心と体を持つことが大切です。勉強も同じです。マラソンも、絵を描くことも、漢字を覚えることも…どれも同じです。「諦めない心」を持ち続け、練習や努力により「目標や願い」が実現できる日が来ることを願っています。

3学期は、1～5年生は54日、6年生は49日でそれぞれ進級、卒業となります。1年間のまとめとなる大切な学期です。また、次の学年・次の学校を目指して、自分の気持ちの持ち方や行動の仕方についてしっかり学ぶ時期です。一日一日を大切に、それぞれ目標に向かって努力して行って欲しいと願っています。

最後になりましたが、子どもたちには事故に巻き込まれないよう、ご家庭でも指導していただき、また、地域や隣近所でも互いに協力して子どもを見守ってくださるようお願いいたします。本年が子どもたちにとって、健康で豊かな一年となるよう職員一丸となって努力してまいります。保護者の皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。